



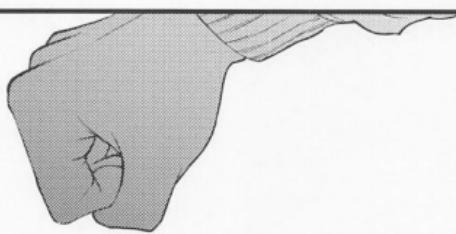
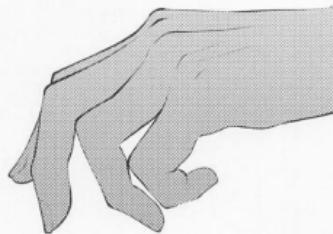
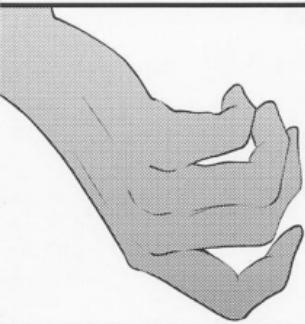
Ri8
Ri8
Ri8
Ri8

ひよ
よ
も

羽宮
二虎
×
松野
千冬

cowardice



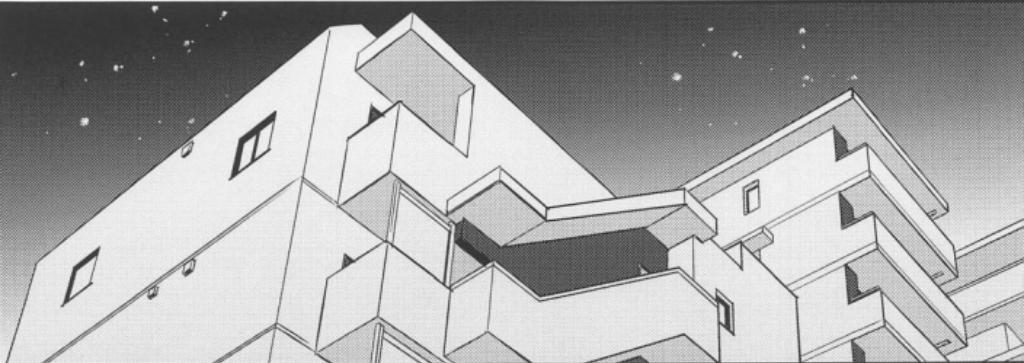


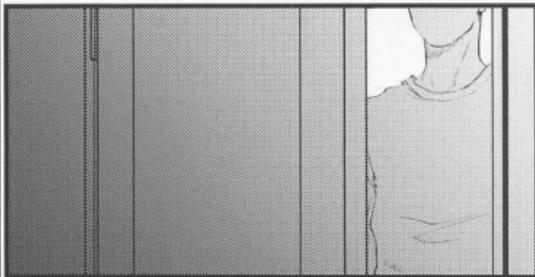
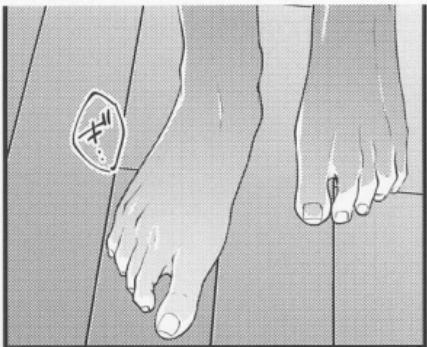
生きて償う事
だけだから

Cowardice

attention

ばじふゆ前提・22巻軸とらふゆ
(ばじふゆ(一部)描写が御座います)
この本に描かれた全ては作者の
自己解釈・捏造です。
キャラブック・スピンオフ等
考慮できていない部分があります。
R18表現が御座います。
18歳未満の方の閲覧を固く
禁じます。







お前が一番苦しいのに
俺も同じだけ辛いと
勘違いしそうにない

俺の心配するフリ
なんかして

俺なんかに弱音を
吐けないから
笑うでごまかして
ばかりで



俺はあの日の事を、
お前の目を忘れたら
駄目なんだ、



そんなの
許されて良
いだろ

本当はお前が
好きだって
言いたくなる

寒くなってきたから
鍋でか食いたいです。

なのに全部忘れて
千冬の優しさに
縋りたくなる



— そうだろ、場地











あれ以来一虎君は
必要以上に
近づかなくなつて
しまつた

仕事はしてくれるし、
会話もするけど
なんとなく避けられて
しまつている



掃除おわりましたか？

ん

あ、一虎君
今日は夕飯…

それに加えて家にも一緒に帰らなくなつた

外で食うから
大丈夫

メヂュランド

あーごめんけど
俺これから用あるから
帰り遅くなるわ

メヂュランド



一虎君、

あんたの事、
好きだって言つたら

…場地さん

多分場地さんも
俺と同じ気持ちで



俺から東北から
場地さんを奪つたから

だから一虎君が
憎がつた

場地さんのことを今も
抱えて生きているのは
一虎君だと思ったから

でも俺は彼を
迎えに行つた

俺と同じ熱量で、
気持ちで、



復讐とか恨みよりも
彼をもつと知りたい
と思つたんだ



気づけば俺の方が
絆されてしまった

段々心を開いてくれた
一虎君はムカつく時も
あるけど一緒にいて
楽しくて、



アンタの傍で
ただ生きていけたら
良かったのに

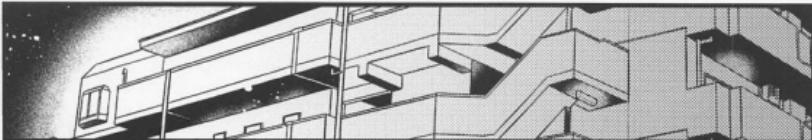
あんな事されたら
もう戻れねえじゃん



うるさい...

ウジウジすんの
俺らしくねえ

…ごまかすの
もうやめにしよう



え、一虎君？



一虎君、俺…

俺もう風呂
入つて寝るわ

おやすみ

お願いします

…分かった

、ちふ
お願いだから
俺の話、
聞いて
くれませんか

ツ待ってください！

アンタと場地さんを重ねてなかったとは正直、言い切れません

それで俺が一虎君を傷つけたって分かってます

でも俺が一虎君を大切にしているのは本当です

アンタが、好きなんです

：分かんねえよ、お前のこと

千冬はなんで俺を大事にできるの？

お前から場地を奪つて抜け殺した俺をどうして受け入れられるの？

それじゃ
ダメですか？

でもそれ以上に俺が
アソバと生きていきたい
つて思つたから

簡単ですよ

一虎君は場地さんが
命をかけて守つた
宝物だから

一虎君はもう充分
自分で自分を責めて
呪つて、後悔して

一番自分を
許せないのは
アンタ自身でしょ？



必要とされてない
俺の事なんか
愛すなよ…」



だから受け取つて
欲しいんです

俺の気持ち

俺、お前の傍に
いいの？

うん

一虎君が
いいんです

その為の
俺でしょ

上手く、やれるか
わからんねーよ

昔の事思い出して
自暴自棄になるし

うん

まだ上手く
笑えねーし

笑俺が
わせます

発注ミスるし、
客にガン飛ばす

それはできる限り
やめてください



…千冬

はい

俺
千冬が好き

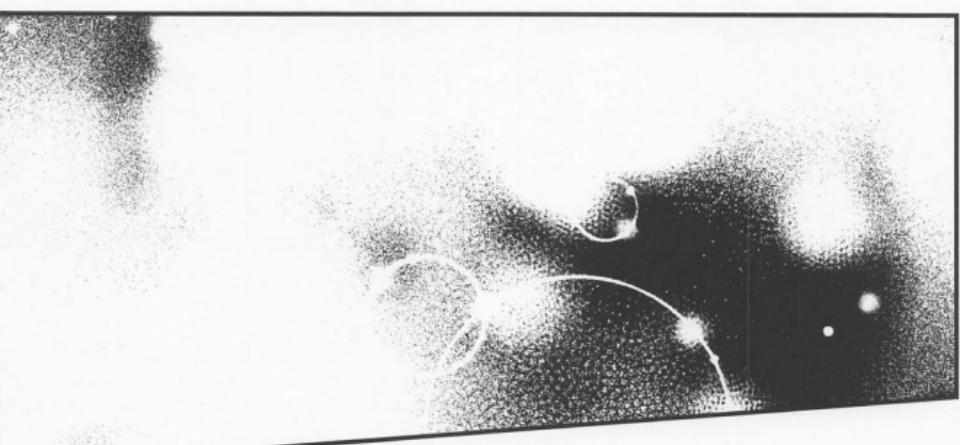
好きだよ

やつと言つて
くれましたね

俺も、一虎君が
好きです







—11月3日

今日は一虎君も
来てるんですよ

俺の方はぼちぼちって
感じです
お店の方も軌道に乗って
來たんです

晴れて良かつたです
少し寒くなつてきましたが
お元気ですか？



場地



千冬が
俺に
そう思わ
せたんだ



一虎君...



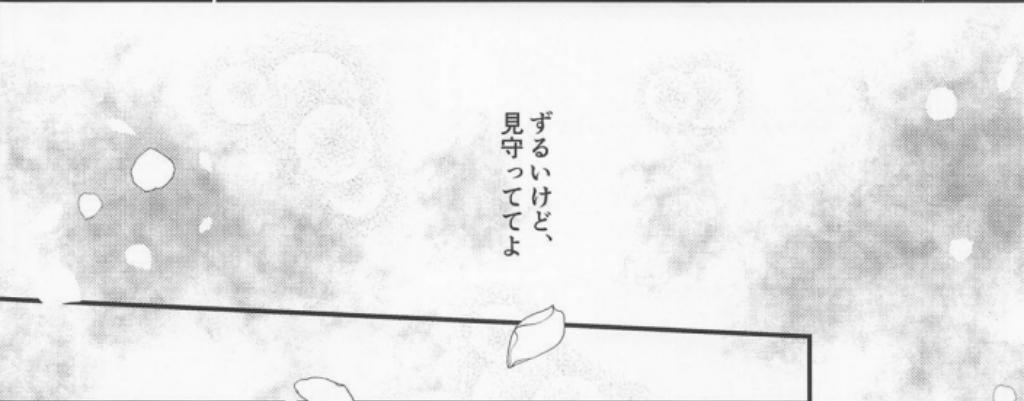
少しずつ前見て
生きていける気が
してきたよ

俺がやった事…
全部許してもらえるなんて
思ってねえけど

ずっと来れなくて
ごめん



ずるいけど、
見守つててよ



お前がまだ
道踏み外したら
ぶん殴つでやるから

俺の分まで
千冬の事頼むワ

唯我独尊

天上天下

一虎





任せられた

あとがき

この度はこの本をお手に取って頂き、
また最後までお読みいただき有難うございます。

タイトルの「cowardice」は直訳すると卑怯者、臆病者という単語で、この物語の一虎君と千冬を表現するのに適しているなあと思いつきました。

私はとらふゆの2人の関係上、場地圭介という存在がとても大きいと考えているので、ばじふゆ前提のとらふゆで今回のお話をずっと考えていました。

場地君を亡くしてしまった事を乗り越えるのではなく、受け入れて抱えたままこの先の長い人生を2人で生きていってくれたらいいなと思い、私の思う二人のスタートのお話を描きました。

きっと千冬なら一虎君とうまくやれると思います。

技術不足が目立ちあんまり上手に表現しきれなかった部分が多々あり読みにくい本になってしまっていると思いますが、少しでも何か心に残ってくださいましたら嬉しいです。

ナ

追加小話

表紙で2人が持っているお花は場地君の誕生花のカモミールと初恋草です。

カモミール…「逆境に耐える」「仲直り」「友情」

初恋草…「深い初恋」「秘密」「約束を守る」

原稿中お世話になったBGM

umbrella/SEKAI NO OWARI

対戦/センチミリメンタル

僕らだけの主題歌/センチミリメンタル

まるつけ/センチミリメンタル

タイトル	Cowardice
発行日	2022.08.28
発行者:	ハートを射抜いた/ナ
表紙デザイン	UCHUg Design様
Twitter:	@nano_yume15
印刷	STARBOOKS様

※この本は非公式ファンブックです。公式とは一切関係ございません。

無断転載/複写・複製/無断アップロード/

オークション・フリマアプリへの出品・転売は禁止です。

不要になりました際は専門の中古書店に売却していただくか、

中身が分からぬ状態にしていただいた上で可燃ごみとして

廃棄してください。

18歳未満の方の購買・閲覧を禁じます。



Shot through the heart
presents.